

台湾知的財産関連ウェビナー

令和4年6月29日

関係者各位

台湾弁理士会
日本事務委員会



台湾知的財産関連ウェビナー開催について

平素は、格別のご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、台湾弁理士会では、台湾の知的財産制度や実務を日本語で説明するウェビナーを開催したいと考えております。

この度は、台湾における現行の制度や実務に関する解説の他に、日本の制度との違いや将来的な改正の動向等にも触れていきたいと思っております。このウェビナーを通じて、日本の皆様方の台湾での知財活動に多少なりともお役に立つことができ、よりご関心・ご理解を深めていただければ幸いです。

ご多用中とは存じますが、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。



記

1. 日時：2022年8月30日（火）

	時間(日本時間)	テーマ	概要
第1部	14:00~14:40	台湾と日本の特許出願制度の比較	1.台湾と日本の特許出願手続きの差異についての紹介 2.台湾特許出願の再審査制度、分割出願の時期などの説明 3.専利法の改正方向の紹介
第2部	14:45~15:25	ソフトウェア特許から語る競争力アップ	1.無形資産で競争力の格差が激増、無形資産の投資は収益率の評価が困難 2.ソフトウェア特許で無形資産を貯める 3.台湾のソフトウェア特許関連審査基準に関する改正 4.競争力アップのために、ソフトウェア特許を利用可能
第3部	15:30~16:10	台湾のペテントリンケージ制度の紹介	1.台湾のペテントリンケージ制度の紹介 2.台湾におけるペテントリンケージ制度の実施状況
第4部	16:15~16:55	台湾2020年11月施行の意匠審査基準の改訂内容の紹介及び日本との比較	1.台湾2020年11月施行の意匠審査基準の改訂内容の紹介 (1)明細書及び図面の記載要件の緩和 (2)建築物及び内装が意匠の保護対象であることを明確化 (3)意匠の分割要件の緩和 (4)画像の意匠の保護拡充 (5)その他 2.上記改訂内容に関連する日本の規定との比較説明
第5部	17:00~17:40	台湾の特許権侵害訴訟の最近の動向～日本企業関連の判決を中心に～	1.台湾知的財産及び商業裁判所の現状の紹介 2.日本企業関連の特許権侵害訴訟の紹介 (1)108年(2019年)民專訴字第99号(共有特許権者の国際消尽について) (2)109年(2020年)民專上字第49号(先使用权について) (3)109年(2020年)民專訴字第111号(特許権の移転登録について)

2. 講演者

	氏名	所属事務所	資格
第1部	陳昭佑	華鼎國際法律事務所 Hua Ding International Patent and Trademark Law Firm	弁理士 米国ペテントエージェント試験合格
第2部	周秉慧	聯誠國際智慧財產權事務所 Li & Cai IP Group	弁理士
第3部	許淑真	冠群國際專利商標聯合事務所 Top Team International Patent & Trademark Office	弁理士
第4部	林軒吉	台一國際智慧財產事務所 Tai E International Patent & Law Office	弁理士
第5部	劉浩祺	常在國際法律事務所 Tsar & Tsai Law Firm	弁理士 中国代理人資格試験合格

3. 費用：無料（事前申込制）

4. 締め切り：令和4年8月22日（月）



以上